

# 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3790400034		
法人名	医療法人社団 大杉脳神経外科医院		
事業所名	グループホームまおの里		
所在地	香川県善通寺市大麻町2080-1		
自己評価作成日	令和2年11月3日	評価結果市町受理日	令和3年2月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>自分の家で過ごしているような居心地と安心感を提供出来るよう利用者様に寄り添い、心躍る日々を過ごしていただけるよう支援しています。又、下肢筋力低下防止の為、歩行訓練や機能訓練に力を入れています。</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点】

<p>田園地帯の中で福祉施設の一角に事業所がある。運営母体は医療法人で、隣には、もの忘れ相談医師の医院がある。『身も心も踊るような施設』づくりが目指されており、事業所での生活は利用者の心身の維持・強化のため、できるだけ自立した生活の実現が図られている。利用者は家事活動やレクリエーション・個別プログラム・創作活動・散歩などを取り入れたリズムのある日々を過ごされている。会話が多く、にぎやかで笑顔が多く見られたのが印象に残る。</p>
--

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アストリーム・アライアンス		
所在地	香川県さぬき市津田町鶴羽2360-111		
訪問調査日			

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き生きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	目に付く場所に掲示し、ミーティングで共有している	『目配り、気配り。声配り』を理念に掲げ、今年は、「笑顔で挨拶 報告連絡相談を大切に」を目標にし、目に触れる場所に掲示するとともに引継ぎなどで繰り返し確認されて、実践に繋がられている	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	公民館へ入居者の方の作品の掲示や運営推進会議を通して情報を集め、積極的な交流を目指している	地域の情報を収集して、交流の機会を増やされてきた。学校や公民館活動・自治会の活動等に関わり、事業所のイベント参加も双方で増えている	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	利用者様と地域行事に参加、中学校職場体験の受け入れ等を通して理解を得ている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催している。市担当者、民生委員、自治会長に参加していただき、活動に対する意見をいただいている	運営推進会議は2ヶ月に1度開催されている。今年度は、新型コロナの影響で文書でのやり取りが多くなっているが、事業所では工夫して参加者に連絡を取り、報告や意見などを交えた情報交換がなされている	運営会議にて、例えば防災では消防の担当者や防災指導員等の専門家の意見を聞く機会を設けるなど、事案に応じて更に多方面からの意見の聴取により、サービスの幅が広がることに期待します
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターの市担当者に運営推進会議に参加していただき意見情報の交換を行っている	運営会議への参加や、日頃の連絡等を通じて、事業所での日頃の様子や、状況の変化についての意見交換などがなされている	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティングの際、身体拘束について理解を深めるよう努めている。又、2ヶ月に1度身体拘束委員会を開催し、市担当者や民生委員の方にご意見をいただいている	年間研修計画に、身体拘束をしないケアを取り入れ研修を行い、管理者や職員ミーティングの参加を必修にされている。2ヶ月に1度は身体拘束委員会を開催して、外部者の参加の元で行われている	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングやカンファレンスにて話し合う機会を持ち虐待防止に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修の機会があれば参加し、情報共有を行っている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に重要事項の説明を行い必ず同意を得られた上で契約している。又改正があった場合ご家族様にご理解と同意を得ている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や電話にて密に連絡を行いご意見ご要望をミーティング等で検討し、運営推進会議で報告している	定期的な機関誌の発行や家族に個別に手紙や写真の発送、電話での連絡等を継続されている。コロナ禍で面会は予約制やアクリル板越しにするなど工夫も見られる。利用者や家族の意見、要望は逐次ミーティングで検討され、運営推進会議で報告されている	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	随時意見を募集しており、毎月のミーティングで検討・共有している	運営に関する職員の意見や提案は、代表者や管理者・職員が参加する毎月の会議で検討されている。また、ミーティングやカンファレンスでも検討された事案は事業所の職員に報告され共有されている	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	日頃からコミュニケーションをとり気軽に相談出来る環境を作っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内外研修の情報を回覧し自主的な参加を促している。法人内研修には必ず誰かが参加し、研修後は資料の回覧にて情報を共有している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	連絡協議会に参加し、研修や交流会を通じて情報収集しサービスに生かせるよう努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に見学や面会の機会をいただき、ご要望をお伺いする等関係作りに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	同上		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の意向をしっかりと伺いし、その意向を反映したサービス提供に努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事活動を通し、居場所や役割を理解していただくと共に信頼関係を築いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族に寄り添い意向を伺いながら、面会や外出等のご協力をいただいている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族やご友人にはあらかじめ予約をいただいた上で感染対策を取り、面会していただいている	コロナ禍では外出は難しく、訪問は予約し、手指消毒、検温、アクリル板又はガラス越しなど感染対策をしての対応となっている	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の出来る事をしっかりと把握し、その力を生かせるよう家事やレクリエーション参加を促している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	転居先に面会に行ったり、ご家族様にお会いした時は様子を伺う等している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員が個別に担当を持ち情報を収集し、毎月1回のケアカンファレンスにて共有・検討を行っている。	入所前に本人や家族から暮らしぶりの意向や希望を聞き取り調査、日頃の生活ぶりを担当者が把握し、ミーティングやカンファレンスで話しあい、共通な認識につなげられている	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・ご家族よりこれまでの様子をお伺いし、経過等の把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の言動を記録し、ミーティングやケアカンファレンスにて情報を交換し把握に努めている(共有している)		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	チームカンファレンス、担当者会議には本人・ご家族をはじめ、医師、看護師の意見も伺い作成している	本人や家族の思いや意向を聞き取り、医師や看護師の意見を参考にして、月1回のカンファレンスをして、職員全員の参加により計画書を作成、計画は本人や家族に説明し了解を得て実施されている	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の言動や気づきを記録し、申し送りやミーティングで共有しケアに反映している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズをしっかり把握し、ご家族とも相談して無理なく楽しく取り組んでいただけるよう努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	生活歴を尊重し、本人の興味ある事を大切に支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際、主治医を確認し希望される医療機関を受診している	受診は本人や家族の意向で決められている。事業所では法人の医師がほぼ毎日利用者の状態を確認している。歯科の往診もあり、緊急時には看護職員が対応できる環境も整えられている	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	普段より看護師と連携し体調の変化があればすぐに連携病院へ連絡し、指示を仰いでいる		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	連携医療機関とは連絡を密にし、スムーズに対応出来るよう心がけている。又、入院病院を訪問し情報共有を行っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族・主治医と話し合い、本人・ご家族に寄り添った対応を心がけている	入居時より重度化や終末期の看取りに関し、事業所のできることを本人や家族と話し合いをしている。重度化ごとに医療者を交え話し合いを行い、支援の在り方が相談されている。本人や家族の意向を踏まえた支援がチームで行われている	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	バイタルチェック・状態の把握を行い主治医に報告して指示を仰いでいる		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防災訓練を行っている。夜間でも迅速に行動できるよう避難手順確認している	多様な災害に備えて、避難訓練を実施している。今年度は長雨により河川の増水があり、2階への避難訓練を実施している。運営推進会議でも協議される議題として検討が重ねられている	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声かけや言動で配慮すると共に個人情報の取り扱いの徹底に努めている	一人ひとりの利用者に丁寧に接し、個人の特性を把握されている。記録類は職員以外には触れられないよう管理されている	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の関わりから思いや希望を探り、その思いを尊重している。生活の中で自己決定できる場面を提供している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調や気持ちに配慮し、無理強いする事なく、自身のペースで過ごせるよう支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問美容を利用し希望に添ってカットしていただいている。入浴後には鏡を見ながら髪を整えて頂き、化粧水で肌の保湿をいただいている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	感染対策の為盛り付け等は職員が行っているが、一人一人の好みを把握し、嫌いな物等はメニュー変更している。食器拭きやトレイ拭きなど出来る事を利用者さんと行っている	家事活動の一つとして食器洗いや食器拭きなど職員と一緒に行われている。また、楽しい食事をして頂けるよう食事前後にマスクの着用も声掛けられている。利用者同士も仲が良く、お隣同士で話をして和やかな雰囲気がある	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	隣接する厨房から栄養バランスを考えたメニューが提供されている。食材や形態の変更も個別に対応している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎日の口腔ケアに加え、毎月2名ずつ訪問歯科の診察を受けている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を用い数時間おきに声かけ誘導を行っている。又個人の排泄パターンを把握して声掛けを行うよう努めている	排泄パターンを把握して、トイレでの排泄を促している。トイレでの排泄ができるように足腰の筋力低下を予防する体操なども行われている	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	レクリエーションに運動や歩行訓練を取り入れ排便を促している。又、主治医とも排便状況を共有し随時対応している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	洗身等自分で出来る所はやって頂き、出来ない所は介助見守りを行っている。入浴タイミングは本人の状態と気分によって適宜変更している	入浴時間は定めているが、本人の体調や希望により柔軟に対応されている。自分で行うことは当事者に任せ、できないところを支援している。また、清拭や足浴も実施されている	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後等休みたい場合は本人の意思を尊重して休んでいただいている。夜間入眠のタイミングも利用者様に選んでいただいている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬情報は職員全員が把握出来るよう申し送りやミーティングで共有している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の能力を生かして家事やクラフト、レクリエーションに取り組んでいる		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は外気浴や散歩を行う時間を増やしている。季節によって外出支援も行っている。(今年はコロナウイルスのため外出自粛している)	家事活動の一環で、外の掃除や洗濯物を干しに出かけている。事業所の近辺には平坦な農道があり、散歩道として利用して気分転換やリハビリに役立っている。行楽などの外出支援も行われている	新型コロナの影響で面会も外出も控えなければならず、残念です。できれば、一人ひとりの利用者が支援者と共に自由に外出できる日が来ることを期待します

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人での金銭所持はトラブルの原因となる為、いづらかお預かりさせて頂いて必要に応じて、ご自身でお使い頂けるようにしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎月1回ご本人の書いた手紙、ご本人の写真、職員の書いた近況報告をお送りしている。希望があれば電話の利用もご案内している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じられる掲示物を利用者様と共に作成し掲示している。又、草花を飾り癒しの空間を作れるように心がけている	リビングは日当たりがよく、広く一角には畳コーナーがある。広い壁面には大きな合同作品や小品が所狭しと掲示されている。平時はここで合同作品作りやリハビリ・個別のプログラムが行われている。利用者が賑やかにお話をする場所でもある	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソーシャルディスタンスを保ちつつ、気の合う方同士でお話出来るよう工夫している。テレビ前は集まりやすいよう広く空間をとっておりレクリエーション等に活用している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際、これまで使用されていた馴染みの物をご家族に頼んだり、ご家族の写真を飾ったり、心地よく過ごせる雰囲気作りに努めている	馴染みの私物を持ち込み、家族の協力も得て本人好みの居室ができている。衣類を掛け、写真や雑誌・作品を飾り明るく寛げる部屋となっている	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室にわかりやすいよう大きな字で表示している。座席や居室には名前を表示したり、個々の状況に応じて配慮している		